

ホタテガイ養殖管理情報

東湾の早い所では6月下旬から間引きができる見込みです

1 各地採苗器への付着状況

6月11日～14日に行った臨時付着稚貝調査の結果は、別表及び右図のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、全湾で156,550個/袋、東湾で246,272個/袋と、前年6月9～16日調査時（それぞれ106,709個/袋、114,688個/袋）よりも多く、西湾で36,921個/袋と、前年（98,731個/袋）より少なくなっています。

稚貝の平均殻長は全湾で1.41mm、西湾で1.58mmと、前年同期（それぞれ1.30mm、1.37mm）よりやや大きく、東湾で1.28mmと、前年（1.23mm）とほぼ同じサイズとなっています。

キヌマトイガイは全湾平均で197,614個/袋、ムラサキイガイは全湾平均で38,546個/袋と、前年同期（それぞれ78,091個/袋、19,499個/袋）より多い数となっています。

なお、ヒトデの付着は見られませんでした。

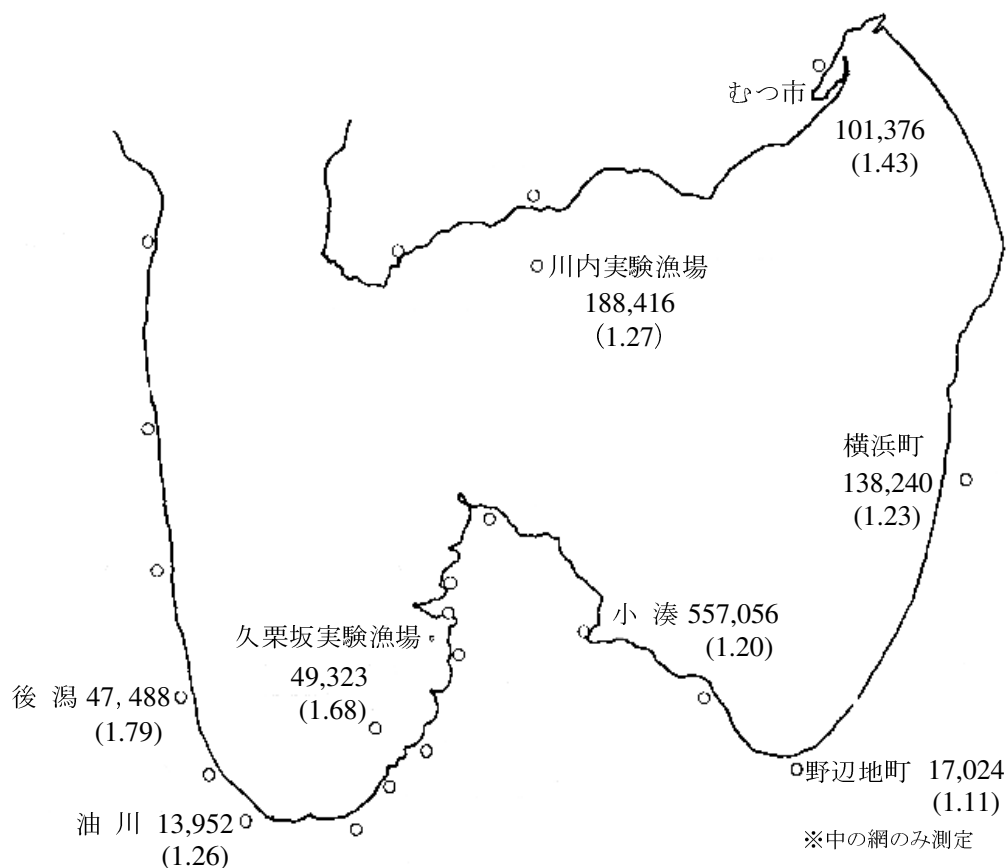


図1 調査地点毎のホタテガイ付着数[単位：個/袋(平均殻長mm)]

2 海況

6月11日～15日の平均水温は、平舘ブイで10.9～15.6℃、青森ブイで10.8～16.9℃、東湾ブイで7.5～16.3℃でした。半旬別平均水温を平年と比べると、平舘ブイの1m層で「やや高め」、15m層で「やや低め」、30m層および底層で「かなり低め」、青森ブイの1m層で「やや高め」、15m層で「かなり低め」、30m層および底層で「平年並み」、東湾ブイの1m層で「かなり高め」、15m層～底層で「かなり低め」でした。

3 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多い所では間引きをしてください。

東湾の早い所では6月下旬から間引きができる見込みですが、**付着稚貝が目で確認できるサイズ(殻長2～3mm)になってから行ってください。**ウミセミが多く見られる所では、稚貝が食害にあわないように細目の袋を使用してください。

6月28日に第2回全湾一斉付着稚貝調査（**間引き前の上、中、下層と間引き後の中層、合計4袋**）を行い、結果を7月1日に発行する予定ですので、稚貝採取時期については今後の情報を参考にしてください。

.....間引き作業について.....
作業は以下の点に注意して行ってください。

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等により異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(流網などの付着基質は上下に振るだけにし、船べり等に叩き付けない)。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個以下になるように)。
- ・間引きしたものは、中層以深に垂下し、安定させる。
- ・ヒトデの付着が見られるときは、結び目をよく洗う。

